＜様式 6-5 学校教育活動支援事業成果報告書＞

【活動の主題】　ふじみ大好き！富士見小学校キャラクターを作ろう！
【副題】　～学校に愛着ある「ふじみっこ」を育てる！～

【学校名】　大津市立富士見小学校

１　本校の概要

大津市の中心部にあり、名神高速道路が横を走る高台から琵琶湖や近江富士（三上山）を望む地に所在する立地である。

市内においても１・２を争うほど校庭が広く、まわりを「富士見の森」に囲まれた自然豊かな環境である。

児童数は４８７名。以前は学校に隣接する東レ石山工場の関係者の児童が多く在籍していたとのことだが、近年は新興住宅地に転入してきた家庭・児童が多く在籍している。

２　取り組んだ内容

（1）学校の新キャラクターを募集！

令和３年度に学校キャラクターとして「フジーくん」「ふじみくん」「フジッキー」の３体が誕生していた。時間が経過していたせいか、４月当初、児童・教職員の意識の中で３体の認識は浅く、あまり浸透しているとは言えなかった。新たに１体作ることで、４体展開し、児童・教職員・保護者や地域関係者に愛されるようにしていこうと考えた。

新たなキャラクターを募集する際の設定や条件は以下の通り。

・「富士見っ子」の代表…「ふじ　みつこ」ちゃん
・着用しているワンピースは三上山をモチーフとしたもの…ストライプは大ムカデをイメージ
・条件は１年生でもマネして描けるデザイン

１２９点の応募の中から５年生がデザインしたものを校長が選定し、２学期の始業式にてお披露目を行った。

（2）キャラクターの汎用化

キャラクターが決まったら、様々な場面で使うことを可能とすることで子どもたちの身近な存在にしたいと考えた。

まず、４体のキャラクターを Web デザインとしてデフォルメし、親しみやすい丸みを帯びたものにし、デジタルデータに落とし込んで、学校だよりや学年通信、運動会のプログラムなどの配布物に掲載するようにした。そのおかげで、子どもだけでなく、保護者や学校関係者にも認知されるようになってきた。

さらに、画像のようなクリアファイルを制作し、児童全員に配布した。ファイルの絵を模倣し、自由帳に描いたり、塗り絵にしたりと自由に活用する姿があちこちで見られるようになった。

３　活動の成果

キャラクター決定～クリアファイルの配布、たよりや通信などへの掲載により４体のキャラクターは富士見っ子に定着してきた。委員会活動で作る啓発ポスターでの使用、総合的な学習でのおもちゃ作りでの使用、キャラクターのイラストを使った宝探しを児童会で行うなど、今や学校になくてはならない存在となってきている。

また、今後は地域から、子ども食堂で使用する食材（じゃがいも）を学校の畑を使って栽培し提供していこうと計画を打診されている。畑についても、「みつこファーム」とし、富士見学区のシンボル的に扱いたいとのことであった。

子の取組を通して、学校キャラクターを刷新、展開していくことで、私の学校、私の地域という愛着が育まれてきていると感じている。